

明日へ

避難生活 心身健康に

郡山で料理教室、健康相談



おいしいチャーハンの作り方を教える鈴木さん(左)と石井さん(右隣)

東京電力福島第一原発事故の避難者を対象とした健康増進事業「はまらっせんキッチン」は十八日、郡山市にある富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンターで行われた。料理教室と看護師らによる健康相談で心身の健康を支援した。

NPO法人日本医療政策機構、NPO法人日本臨床研究支援ユニット・東日本大震災被災住民支援プロジェクトは、神奈川県のハワイアンミュージシャン「Half Moon」によるミニコンサート(他、富岡町民が生きがいづくり活動で励むフラダンスと踊りで元気を発信する。

交えながら分かりやすく教えた。

健康相談では、保健師が自律神経のバランスを測定したり、看護師がリラクゼーション効果のあるヨガを教えた。県栄養士会による栄養相談もあった。

はまらっせんキッチンは、復興庁の「新しい東北」先導モデル事業の採択を受けている。二月から始めており、四回目。支援ユニット理事長は福島市出身の大橋靖雄東大大学院医学系研究科教授が務めている。

富岡思い音楽の祭典 21日郡山でコンサート



コンサートへの来場を呼び掛けるスタッフ

富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンター主催の「春を待つ日のコンサート」は二十一日午後一時から郡山市のポリス保健看護学院メ

グレスホールで開かれる。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から四年目に入り、古里を思いながら明るい気持ちで一歩を踏み出そうと企画した。第一

部は、元富岡高音楽講師の四家昌博さんのピアノ演奏に乗せて、郡山市出身のオペラ歌手重藤啓子さんがシューベルトの「魔王」などを披露する。ピアノは富岡町文化交流センター学びの森で親しまれ、原発事

故後は同ホールに貸し出されているスタインウェイ社製のグランドピアノを使用。

第三部は、シンガー・ソングライターの普天間かおりさんが作詞し、シンガー・ソングライターの村井敏朗さんが作曲した富岡町の応援ソング「桜舞う町で」を全員で合唱する。

入場無料。問い合わせはおだがいさまセンター 電話024(9335)3333 2へ。



常。ん)